



# 中学校を南北2校にする計画の見直しは

山田 門左工門議員

環境の変化で方針を見直す必要性もある  
教育部長



▲将来、追統合が予測される永和中学校

**問** 将来、中学校を南北2校に集約する協議会案を見直す考えは。

**答** あくまで将来像であり、中学校が単学級学年が生じると見込まれたタイミングで、検討を開始する。近年、学校教育を取り巻く環境が大きく変化しており、基本方針を見直す必要性も出てきている。

**問** 協議会案では、8開地区の3分の1しか賛同

を得られていない。永和地区は、中学校を残してほしいと嘆願書が出された。立田地区でも佐屋中

に行きたくないという声が多い。丁寧な説明をしないために反対運動が起きています。今後、住民との合意形成を、どのように進めるか。

**答** 永和中学校が過小規模校になると見込まれる5年前までを目途に、検討を開始する必要性を指摘したもので、現時点の

決定ではない。今後、未就学児や小学生の保護者を対象に座談会を開催する。

**問** 昨年、総務文教委員会で三重県志摩市を視察したが、独自に学校再編の基本的な考え方を作つてから着手している。合併した旧町には必ず中学校を残す。1学級21人未満が見込まれたら再編の対象にする、などのルールを作っている。本市独自のルールを作る考えはどうか。

**答** 新たなルールを作る考えはない。

**問** 地区検討協議会では成果も得られずに終わった。住民には、学区の編成、通学時間、距離、通学方法、小学校の適性について検討を文書配布している。再開する計画は。

**答** 教育委員会と庁内に設置するプロジェクトチームで協議する。

緊急通報システム  
有料化見直しは

**問** 高齢者見守り事業の緊急通報システムが来年度より有料化することの事だが、収入に応じた負担の考えは。また近隣の状況は。

**答** 無料は、あま市、大治町、飛島村、稲沢市。所得に応じた負担は津島市、弥富市、蟹江町になる。本市は一律負担をお願いする。

**問** もし津島市と同じ負担方法ならどうなるか。

**答** 利用者負担なしの割合を津島市と同じ91%で試算すると、813万円が本市の負担となる。